

県市議会議長会研修

木村氏は、自然が豊か、食べ物がおいしい、人が温かいとう、三本柱の「田舎の魅力」が、移住前に抱いていた感覚をはるかに上回り、三本柱の一つ一つが想像以上に大きく感じられたなどと体験談に触れながら岩手の魅力についてユーモアを交えて話しました。

第二部は「人口流出が止まらない本当の理由と議会の役割」をテーマに、一般社団法人



講演する中村氏

第一部は「移住して発見した岩手の魅力。三本柱で幸福感、あると思います!」と題し、いわて応援芸人の天津木村氏が講演しました。

岩三県市議会議員会に1月1日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

卷之三

県際3市議会議員交流会

と題し、けせんぬま創生戦略
室室長補佐兼ふるさと納税係
長の尾形庄衛氏が講話しました。

尾形氏は、寄付額が令和6
年度まで3年連続東北1位
となり、昨年1年間だけで
121億円となつた取り組み
について説明。返礼品の取扱
事業者と返礼品の数を増やす
ため、自ら現場に足を運び、
実績を伸ばしたことを強調し
ました。

また、利用者にとって申し
込みの窓口は多い方がいいと



気仙沼市からふるさと納税の 取り組みを聞く

ふるさと納税寄付制度について、示唆に富む内容に感心させられた研修となりました。

付受付窓口「サイト数を増やすこと」を示しました。

このほか、寄付金は経常経費にせず、「未来への投資」として今後10年間にわたり人口減少対策や教育、産業の3つをパッケージ化した事業展開について説明。それぞれの用途を明確化することで、寄付者と市民の双方に透明性のある取り組みとしている状況が話されました。

位気仙沼市に学ぶ

上原からお見に
後それぞれの議員活動にい
かしていきます。
ご協力ありがとうございました。

また、高校再編をたずねる投票では高田高校の海洋コースを残してほしい40人、残さなくともよい1人という結果になりました。

ふるさと納税の活用方法を問うシール投票では、こども支援、産業振興や雇用への要望が多く出されまし
た。

ための写真撮影コーナーに
加え、気になる話題につい
て市民の声を届けてもらう
シール投票や気軽に意見
交換できるよう議会と
お茶っこコーナーを設けま

市議会は本市産業まつりに出展しました。

産業まつりの来場者に聞きました

